

会場の「ABBEY ROAD」は、東武東上線越谷駅から歩いて5分程のところにあるビートルズマニアのライブハウス兼洋風居酒屋といった雰囲気のお店でした。自力で辿り着ける自信がなかったので、越谷駅に着くやいなや交番にかけこんだら、お巡りさんがとっても分かりやすく教えてくれました。この店への道順、よく聞かれるんだそうです。

18時すぎから三々五々とファンが集まってきて、18:30開場。
入って右端にカウンター席、その奥にはボトルがいっぱい。フロアは椅子30脚
ぐらい+小さい丸テーブル5つぐらいでもう、所狭し状態。ステージも3~4人乗
ると一杯って感じで、一部の機材はステージからはみだしてます。
狭いだけあって、最前列に陣取るともう、足元すぐそばにステージの段。譜面
台に手が届く程の至近距離です。

いよいよ19:00。
メンツからして、トップバッターはみしまさんだろうな....と思っていたところ、いきなりステージにあがったのは“唄う社長”！
「皆さん、秋の越谷を楽しんでいただけてますでしょうか？ 今日はいくまでもリハーサルなので、ライブ制作の裏側をゆっくり楽しんでいただけると嬉しいです。結婚式の2次会みたいな感じで楽しんでってください」
という挨拶とともに、ファンの間でも“隠れた名曲”として愛されている2曲
『Without You』『Paradise Lost』をアコギ1本の弾き語りで披露。予定より半音上げて演奏、もともと切ないこの2曲が、辻畑さんのシャウトするボーカルで余計切なく聴こえました。

前座とも言うべきステージが終わって、ここからは司会進行役をメトロノームレコーズの最上さんにバトンタッチして、いよいよゲネプロ本番の始まりです。トップバッターはみしまさん。この日の越谷は夕方から雨....そう、彼女のステージに合わせたかの様に、外では雨が降り出しました。
「雨女」が終わって「また雨が降っちゃいました。」とつぶやいたみしまさん。この時点で、彼女のステージは5連続、雨になりました(^.^;
『SAYONARA NO.5』では料理の匂いにつられて、東さんのベースプレーがおかしくなったり(笑)、『Sand Beige』では唄い出しのタイミングがなかなか分からなくてみしまさんがNGを2回出したりと、リハでしかお目にかかれぬ光景が続出。しかしこれもまた、ファンにとっては美味しい一幕(^-^)

変わって「あも」さんの登場。
あもさんは、ピカソと最上さんが特別講師をしている小倉の「九州アーティスト学院」の第2期卒業生で、以前は「あゆ美」という名前で活動していました。(今秋から改名したそうです)
所属自体は、PROJECT PICASSOではなく「インターフェニックス」という事務所ですが、大内義昭さんやcolorsのメンバーと一緒に各地でライブ活動をしてきたことなどがきっかけで、今回PROJECT PICASSOとのご縁が出来た様です。
向かって右手にBaghdad Guitarさん。1曲目と5曲目で、森さんが登場して鍵盤を弾いていました。
あもさんは自分で作詞作曲をしています。雰囲気と言うと「鬼束ちひろ」とか「Cocco」に通じるものがあります。2曲目と3曲目はアコギを弾きながら、他の曲はハンドマイクで唄っていました。
そうそう、唄は重いのですが、MCは意外となごやかで(笑)。
「なんか....結婚式の2次会には呼ばれんやろねっちゅ一曲ばかりだけど(一同笑)、1つ1つ、想いを込めて唄いますので、皆さん、帰らないでくださいネ」福岡の方言交じりのしゃべり、心温まるものがありました。
Baghdad Guitarさんは特にMCはなかったのですが、曲中にリズムをとる小さいかけ声をかけたりしてました。「祭」の時はモヒカンだった頭も延びて、金髪混じりのオールバックになってました。

しばしの休憩をはさんで、いよいよピカソの出番。
セトリリストを足元に広げる東さん。その時点で前の方のテーブルの人達にはもう、思いっきり曲目バレバレ。

「見ちゃダメッ!!」といいつつ、東さんそれを壁に....余計バレバレ(笑)。「今日の曲目をネットで発表しないように(笑)」と釘を刺す辻畑さん。曲目はバレバレですが、それでも1曲目のイントロが流れた時には思わず、鳥肌が立ちました。そのマニアックな選曲が「おっ、今回のライブは今までと違うぞっ!」と思わせる瞬間でした。

次の「明日の風」では、辻畑さんの歌詞が(期待通り?)飛んでしまっ。「すみません、僕です....(譜面台を指差しながら)歌詞、ココにあるんだヨ(苦笑)」みしまさんの時と同様、リメイクが聴けて嬉しい客席。

ライブ初披露になる『ロベルティエーノ』、『'90』バージョンを更にcharge upしたという『シ・ネ・マ』(しかも原キー)、「前の曲のビートを忘れてからやらないと、スピードが遅く感じてしまう」という『GARDEN』、セットリストには『ボラン』と書いてあった『僕の胸にまだいるよ』などなど、2日後の本番がとてもしみじみ選曲ばかりで。

最後の最後にもう1つ、この日だけのお楽しみとして『バレード』の演奏も。リハなので「ここでメンバー紹介が入ります」などといった段取り説明もありました。当然ながら、アンコールのリハもありました(^_^;

何だか私までスタッフみたいな気分になってしまっ、「あさって来る人、楽しみにしててねー!」と叫びたい気持ちでした。

[illegible]

*****「ピカソ通信九州支部」(<http://www2.to/pica-q/>)に
写真をアップしていますので、服装はそちらをご参照ください。

1. 雨女
2. SAYONARA No.5
3. Sand Beige
4. アネモネ
5. マイ・スウィート・コンプレックス

Drs : 加藤直史
E.Bass : 東純二
Gtrs : 嘉多山信
Keyb&Accord : 森英治
Cho&Op : 最上三樹生

最初、開演時間が諸事情で遅れました。まあそれでも客席楽しく談笑しつつ待ってました。

そうそう今まで姫のライブではなぜか雨降っていたんですね。
「私は雨女じゃないです！」と力強く宣言してから、先月のCDデビューの話、そしてCDの宣伝まで。うん成長したねえ。

次は『SAYONARA No.5』「ライブいろんなところでやってるんデスケド」っと、次回の四谷天窓のライブの告知「チケットがCDのところに置いてますのでヨロシクオネガイシマス」と早速PR活動。それからギターとドラムの方の紹介。とってもあっさりした紹介に「ツメタカッタ？」と聞きなおす姫。あれ？そのベースとキーボードのカタガタの紹介は？「あ、あとは～(東さんいいよいいと手を振る)いいよね。ピカソ」とまあなんとか無事紹介しました。

そんな紹介をしつつマイクスタンドをセッティング。「じゃ次は私の中で一番新しい曲です。『Sand Beige』」そうこの間のネットTVで流れたあの曲です。イントロの森さんのアコーディオンが鳴って、さあ歌うぞってところで演奏ストップ。あれ？「失敗！」と落ちをつける姫「おかしいなあ～だれ、だれ？」と原因を追求する姫。どうやら嘉多山さんのギターの音が小さすぎて聴こえなかった模様。「もう一度おねがします。」と気を取り直して、・・・始めます。この『Sand Beige』はネットで聴くよりライブのほうがいいですね。そのまま次が『アネモネ』です。ここはしゃべらないでぐっと感情を盛り上げていきましょう。でもなんで姫の曲は振られた曲が多いのだろうか？今度はもっと「恋して嬉しい！」って曲もあるといいなあなんて思いました。

「ばーっとやってきてこれが最後です。早いネエ～。最後盛り上がっていくんでついてきて下さい。『マイ・スウィート・コンプレックス』」
おおサンプリングの姫の声入り。(CDのアレですね)今までのライブはなかったのとっても派手な感じがします。客席も手拍子で大盛り上がりを見せております。
「ありがとー楽しかったです。バイバイ。」と姫終了。
うん、ほんと6月から成長したなあとおもわずにいられないstageでした。
(サトヨコ)

【FLASH BACK 9】

1. いい夢を見たいなら
2. のび太の決意
3. してやったり
4. Kiss Me Again
5. ビールと君

みしまさんのステージが終わり、予定ではセッティングの関係で20分ぐらい休憩だった様ですが、そこは日々ライブ活動中のFB9。さくさくっとセッティングを済ませ、10分程でステージ開始となりました。

メトロノームレコーズには現在、Hiro Flashさん(1人Flash Back 9)がひとりで所属している形ですが、もともとはピカソ通信6号でもご紹介した通り、Flashさん／Backさん／9さんの3ピースバンドなのです。

今回ついに、バンド形態で登場となりました。

Backさんのベースに乗って、1曲目の始まり。花道から裸足でペタンペタンと登場したFlashさん。早々にメンバー紹介を済ませて

「皆さま、いい夢を見てらっしゃいますでしょうか？今日は皆様の大好きなピカソが出るから皆様もいい夢見てらっしゃいますでしょうか？僕もいい夢を見れる様に頑張りまああああーす！」
と一息で言い切ると、首を振り振りソロを弾き弾き、ペタンペタンのらりくらりと唄へ突入。

1曲目が終わって、MCなしで『のび太の決意』スタート。1番は前回の「祭」と同じくFlashさんのソロでしたが、1番の終わりからバンド演奏。
Flashさんも山高帽を飛ばして、ド派手にエレキを鳴らしてくれました。
「祭」しか知らないお客さんは結構、驚いてたみたいですネ。

今回の全国ツアーに合わせて作ったCDの宣伝にしろ、
10/20に行われた渋谷DeSeo出演告知にしろ、
普段通りのハイテンションだったFlashさん。

『kiss me again』では「可愛い可愛いラママのベイビー」と歌詞を変えて唄ったり、『ビールと君を』ではFlashさんとBackさんが頭をゴツンコしながら演奏したりと、客席こと“お客様フラッシュ”御一同の爆笑をさらっていました。もっとも客席の年齢層が、普段のライブより10歳ばかり高かったせいでしょうか？いつものFB9のステージにくらべると、それでもおとなしめでした。
(ぎねね)

【あも with バグダット・ギター】

1. 笑窪の果て
2. 不穩
3. きれい
4. Cut of use
5. SAVE ME

--- support ---

Keyb : 森英治 (1,5)

ライブのレポートですが、あもさんは全くといっていいほどMCありませんでした。曲の紹介以外で話したことと言えば栗田さんの紹介と、CDの宣伝ぐらいなんで。

ちょっと世間話でもして欲しいなと思いました。

「今日は初渋谷でライブ、すごい…」という言葉がなので印象に残ってます。すごい…なんだったんでしょうね？「緊張してる」かな？「嬉しいです」かな？

曲は、全曲自分で作詞作曲されているようですがなかなか粒ぞろい、良い曲です。ただ、直前がFB9ってのもあるんですが全体的に「おちついた」というより「暗い」ものと感じてしまいました。

『きれい』と言う曲がその中では1番明るい曲だったのですが、その曲でも歌詞はけっこう重いです。

1番新しい曲でライブの1番最後の曲『Save Me』などは「私の小さい頃の事を歌にしました」という紹介にしては非常にづらい体験が歌われていましたし。

是非とも次の機会では明るい歌、動きのある曲も織り交ぜて聴かせて欲しいと思います。新横浜ベルズの時は動きのある曲もあったので。聞き終わった後の余韻はやっぱり楽しい方がいいですよ？

(鴉)

【ピカソ】

1. MASTERPIECES
2. 明日の風
3. ロベルティエノ ~ただ太陽がまぶしすぎて~
4. 海のラクダ
5. ファンタジー
6. シネマ'90
7. GARDEN

8. 僕の胸にまだいるよ(ボラン)
(アンコール)ピギン・ザ・ナイト

--- support ---

Drs : 河野道生
Gtrs : 嘉多山信
Cho&Op : 最上三樹生

あもさんが終わり、またまた休憩。何とはなしにメンバーが集まり、チューニングも終わり、「やれって感じだね」「じゃ、やりますか」なんて気軽な会話ののち聴こえてきたのは、打ち込みSOUNDと歪むギターの音。そおそれは『MASTERPIECES』とってもサイケなキモチにえっと思いつつ始まったのです。

「どーもこんばんはーお久しぶりーピカソです。
渋谷の秋の夜長、今日はゆっくり楽しんでいってくださいっ」と辻畑さん。
と次は『明日の風』。その2曲が終わって、
「6月にこのラママでライブをやってまた4ヶ月のタームでライブをするというのは僕らとしては珍しいのですが(笑)・・・」でもメジャーにいたときは2年に一回くらいのペースだったそうですから、このペースは奇跡？
辻畑さんによると「このラママには思い出深い」そうで、ここが
“SHOW BOAT”という名前のライブハウスの時に、アマチュア時代の最後のライブをやったとのことでした。

お次は「非常に僕たちにとってはライブでやるのはめずらしい・・・曲です」
シューシューシューという打ち込み音で、あれ？・・・そうです
『ロベルティエーノ』じゃないですか！！。この曲ではずいぶん東さんのベースの音がギュルルゥーンと炸裂しまして(とってもカッコよく)サイケらしさに色を添えていました。
そのまま『海のラクダ』森さんのキーボードが印象的です。『hammermakers』のインタビューのときお聞きした(ピカ通1号参照)森さんのキーボードから始まって、そこからこの音が出来てきたっていう話を思い出します。
stringこそないですが、その代わりにギョングョウ鳴るギターがカッコイイ。
辻畑さんの「う、は、う、は、」っていう謎の掛け声も入るのが、またライブっぽい。

ここでピカソのメンバー紹介がありました。
(そういえば6月のときやらなかったとか・・・ああそうですねえ^^;)
以下、長くなるのでちょっと割愛しまして、(詳しくはぎねねさんのサイトのレポをご参照ください)

「ピカソのアカデミックな部分を担当、ピカソの頭脳と呼ばれる男。
自称“スタジオのロマンチスト”....森英治！」
(森さん曰く、「アカデミックなんて言われたの久しぶり、
『SHOW BOAT』懐かしいよね」)

「ピカソのロック部門担当。ここのところメトロノームレコーズで、
詞をひとりで頑張って担当して、みんなから
“文豪”と呼ばれている...東純二！」
(東さん「さっきスゴイ音したでしょ」あれ、わざとじゃなかったんですか?)

「ボーカル兼、ギター兼、リーダー兼社長兼...総合司会の辻畑です」(ニヤリ)

と一通り紹介が終わったところで
「僕たちピカソはデビューしてから17年ぐらいになるんですけど、その間たいしたヒットもなく、(イイイヤーソンナゴケンソンヤー)一般に認知されるこ

となく、それでも17年続いているというめずらしいバンドなんですけど、その僕たちを支えてくれた中の一曲をやります。」
とここでは最新型『メゾクラシカ』バージョンの『ファンタジー』です。
オリジナルもいいですけど、この感じも秋らしくしっとりとした感じがいいですね。コーラスはこのピカ通でもすばらしいお話を聞かせていただいている最上さんなんですけど、とっても変わりたくなるほど気持ちよさそうです。

「次も懐かしいナンバーの『シ・ネ・マ』という曲をやるんですが、この曲は僕たちの生活を助けてくれた曲なんですけど・・・(笑)」
そーですね。たしかピカソがどこ行っちゃったのか分からなくなった頃よくカラオケBOXで用もないのに何回もリクエストしていたことを思い出します。

「ここんところネット上でどんな曲をやったらいいか募ったのですが、結果知りたい方たくさんいらっしゃると思いますが、結果は・・・みんなバラバラです(場内大爆笑)なんでかというところ、『ファンタジー』とか『シ・ネ・マ』はきつとやるだろうということですね、かなりマニアックなナンバーを、やるのが不可能な曲が多かったんですよ。でもその中で『シネマ'90』ってのが、結構あったんです。それを若干charge upして、ちょっとそろそろ季節的には寒くなってきましたけど、少しこの曲で体温を上げてくれたらいいかと思います」

と始まった打ち込みの音はまた『シネマ'90』よりcharge upしてて、これまたエスニックな音であります。もちろん森さんはアコーディオンを装着！軽快に弾いております。そして「みしらぬ～まちのお～」と歌いだした辻畑さんなんですけど・・・「いつかわしたあー****おーいまもおー」ありや生活を支えた大事な一曲でやっちゃいました。^^;まあ歌っていて万感胸にこみ上げるものがあつたのでしょうか(としておきます)あ、他のところも多少あやふやに聴こえました(ドコトハイマセンガ)結構とっちらかってます。胸に込みあげすぎかな？それにしても、森さんのアコーディオンはもちろん東さんのベースの音もギター以上に大きく響きます。
やはり3人にとっての大事な一曲なんですね。

歌い終わって「えー、昔サザンオールスターズのナンバーで“勝手にシンドバッド”という曲がありましたが、若干、唄っててそういう気分になってしまいました」ナルホドソーデスカ。

ここでサポートメンバー紹介

“コンピューターオペレーター兼、パーカッション兼、コーラス兼、生活指導担当”(笑)。
「秋田が産んだ巨人。炊事洗濯以外は何でもやります。“IT社会の無法者”最上三樹生！」

“ドラムス担当”
「非常に誠実な男です。僕達、不良中年のピカソ3人が道を踏み外しそうになると、苦言を呈して正してくれる、道に生きる男。河野道生！」

“ギター担当”
「ギターを弾くマラソンランナー、嘉多山信！」
(陸上競技が大好きな辻畑さんと、陸マガ(正式名称『陸上競技マガジン』デス)の話題が唯一、通じる相手なのだから。)

「今度のライブっていつになるか分かりませんが、またやるときになったら集まってほしいなと思います。そろそろ終盤戦に入りましょう」
そして『GARDEN』前回もやっていますが、このノリのよさはライブの曲だと思います。そして畳み掛けるように『僕の胸にまだいるよ』また『hammermakers』

去年から始まった怒涛のリリースラッシュもここで一息つくのでしょうか？
ちなみにもう予約はじまってます。
詳しくはメトロノームレコードのサイトをご覧ください。
またデビューイベント等あるようでしたらこちらでも告知いたします。

■今度は東京？ピカソ&みしまカオルインスタライブ

福岡での感動のインスタライブからずいぶん経ってしまいましたネエ。
さてこのメルマガの発行日のすぐあと、11月3日に吉祥寺駅ビルにあります、
新星堂ディスクイン <http://www.shinseido.co.jp/>
にてインスタライブが行われます。お近くの方は遊びにきてくださいね。

日 時 11月3日(土) 17:00～

場 所 吉祥寺新星堂ディスクイン(吉祥寺駅ビル・ロンロン Excites1F)

※この模様は11月11日(日) 19:30～20:00 から

むさしのFM 78.2MHz <http://www.musashino-fm.co.jp/>

にて放送されるそうです。

live

■みしま・カオル新横ベルズライブ

みしま姫のライブです。ちょっと平日なんで辛いとお思いでしょうが、
ご近所にお住まいの方ぜひ、みしまの応援してやってくださいよおお～。

日 時 11月19日(月)開場：18:30 開演：19:00

出 演 みしま・カオル

(サポート：バクダット・ギター A.Guitar, 森Keyboards)

場 所 新横浜BELLS <http://www.yk.rim.or.jp/~sss/BELLS.html>

(JR新横浜駅 徒歩5分 TEL:045-476-5691)

料 金 前売り1,800円 当日2,000円 (ドリンク別)

release

■ただいまCDショップで発売中！！

現在、

発売元：メトロノームレコーズ

販売元：ダイキサウンド

から全国発売されているCDは、

・ピカソ 「メゾン クラシカ コンプリート」
「Presents For Lovers」 「Vertigo」

・松田真朝 「八月の恋人」

・みしま・カオル 「SAYONARA No.5」

になっております。お店にないときは、上記の発売元・販売元をはっきり
と伝えて注文してください。

■□■□■□◆「ピカソ」との時間 最上 三樹生 第3回◆□■□■□■□■

さて、1989年冬、ピカソはフジテレビで放映される刑事物のドラマの主題歌を担当することになります。萩原健一、南野陽子主演のドラマ「あいつがトラブル」主題歌は、「SHOUT」です。

私自身は、この頃安全地帯が活動休止中だったため、安全地帯のギタリスト「武沢 豊」と、シンガーソングライター「蠣崎 弘」とともに"r"projectと言うユニットをやっておりました。アニメ「F」(例のキティが持っていたフジのアニメ枠)のエンディングテーマを担当したりしてました。

近藤由起夫氏が「あいつがトラブル」の音楽担当者だったので、我々"r"projectにも挿入歌を一曲発注してきました。ピカソが「SHOUT」を作っているときに、隣のスタジオでこちらも作業をしていたのですが、スタジオに遊びに行き「SHOUT」のグラマラスな濃厚さにしびれました(^)。ショーケン(若者はこの呼び方を知らない人もいるのだろうなあ...)が出る刑事物と言うことで、音楽もかっこいいし、さぞやすごい番組になるんだろうなあという想いでオンエアを見ました。公園通りの猫たちに続いて倒れました(^;。なんじゃこりゃ.....。

番組が、フジテレビであった関係もあり、「夜のヒットスタジオ」にピカソが「SHOUT」で出演することになります。リーダーは、エレキギター(ぎねねさんのページのトップにも出ているあの楽器です)を抱えて登場。私は、自宅で見えていましたが、当時コーラルのエレキギターは、再生産前だったので結構珍しく、そんなことを古館伊知郎に突っ込まれていたと記憶しています。

1990年ピカソは3枚のシングル版をリリースするのですが、その内の一枚「月夜にダンス」についての話をします。

「月夜にダンス」のドラムは、安全地帯の「田中 裕二(爆笑問題ではありません(^;))」が叩いています。エンジニアは安全地帯をずっと録っていた「諸鍛冶 辰也」さんです。前述の通り、安全地帯は活動休止中だったため、田中さんはほとんどドラムを叩いてませんでした。その結果、かなりへなちょこな音で録音されてしまいました。聞くところによると、演奏もかなりへなちょこだったらしく、今でもたまに思い出話として話されることがあります(^;。

さて、へなちょこな音のまま世の中にリリースするわけには行きません。諸鍛冶さんに呼ばれて、トラックダウンの日に、ピカソが押さえていたスタジオに向かいました。バスドラムとスネアドラムの音を差し替えるためです。コンピューターとサンプラーを使って、「月夜にダンス」のへなちょこドラムの音を差し替えました。実はこれが、私のはじめて関わった「ピカソ」の曲だったのです。

みんなが、スタジオに集合する前に作業を終えたので、ピカソのみんなとは会わずに帰りました。こんな地味な仕事が、私と「バンドとしてのピカソ」の仕事上での付き合いの始まりになったのです。

◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇■◇
いわゆるひとつの質問コーナー大募集の巻

11月3日の吉祥寺新星堂のインストアライブの時に
ピカソ&みしま・カオルさんへの取材が決定しました。

そのためのピカソ&みしま・カオルさんへの質問を大募集いたします。

ぎねねさんのサイトに「ピカソ通信」投稿用フォームがあります。
スルドイ質問、アタカイご意見、どしどしお寄せください。
お待ちしております。

締め切りは特に設けませんが、ぎりぎり当日のお昼くらいまでに
メールしていただけると、取材に間に合うと思います。

↓コチラのメール&サイトのフォームにて大募集 なのです。

メール : picasso@post.tok2.com

フォーム : http://www.saturn.sannet.ne.jp/gyne_ne/picasso/form.html

□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□

- ・皆さんからのメッセージ&質問は 随時、大募集中です。
「CDはどこで買えますか?」「○○さんの誕生日はいつですか?」
といった素朴な質問から、ピカソもびっくりのマニアックな質問まで
知りたいことがありましたら、どしどしお寄せください。
編集部で答えが出ない時は、メトロノームレコーズさんへ直撃取材します。
ご本人さんからコメントがいただけることも!

- ・「私とピカソ」
“ピカソとの出会い” “ピカソのここが好き”
“ピカソにまつわる自分の思い出” etc....
あなたにとっての「ピカソ」を、100字程度にまとめてお送りください。
ファン歴の長さ、持ってるCDの数などは問いません。
極端な話「昨日、初めてピカソを聴きました」という方でもOK!

- ・ぎねねさんのサイトに「ピカソ通信」投稿用フォームがあります。
投稿、ご意見、どしどしお寄せください。お待ちしております。

☆ 投稿はこちらへ ☆

メール : picasso@post.tok2.com

フォーム : http://www.saturn.sannet.ne.jp/gyne_ne/picasso/form.html

編集後記

完成してないですけど作りました

<http://www.toyvox.nu/metro/martha/> Marty Party

気長に完成見守って下さい

(鴉)

またしても頑張って、ラママに行ってしまいました。

遠くから行くってのは、もちろん大変です。でもある意味、腹をくくってるところもあるんですよ。「都合がつきそうなら....」なんて気持ちだと、まず都合はつかないものだから。「絶対行く」とまず決めた上で、そのためにはどうするか?....というのを考える様にしまして。

とはいえやっぱり、地元でイベントがあると嬉しいもので。10/16、真朝さんの小倉インスタライブが雨で中止になっちゃって、とっても残念でした。

次回に期待。 (ぎねね@九州しぶちょ。)

レポートの中でも書きましたが、このごろみしまさんのライブへ毎回出かけております。本来ならここでレポートを、といたいところですが、他の

ネタのためどうしても没になってしまいます。そういうわけで、私のみしま
ファンサイト『anemone』 <http://41.tok2.com/anemone/> でその様子のレ
ポをupしますのでお楽しみに (サトヨコ)

*奥付*****

企画・制作：プロジェクトペリカン picasso@post.tok2.com
制作協力：メトロノームレコーズ様

このメールマガジンは、インターネットの本屋さん『まぐまぐ』を利用して
発行しています。(マガジンID: 0000053849)
まぐまぐ <http://www.mag2.com/>

登録/解除は↓こちらへ(バックナンバーもUPしましたよろしく)
<http://www17.tok2.com/home/PARADE/mailmagz/index.htm>

since 2000 :::: Picasso Newsmail All Rights Reserved.